

平成19年度 南房総市行政改革推進委員会 第1回会議録

- ・開催日時 平成19年7月6日(金) 午後2時～午後4時40分
- ・開催場所 南房総市役所別館 1階大会議室
- ・出席委員 庄司眞敏委員 大和田愼一委員 古内徳子委員 忍足浩男委員
平柳常子委員 鈴木俊一良委員 早川光樹委員 平井恵美子委員
稲葉輝實委員 渡邊政久委員 羽山誠委員 木曾貴夫委員
川名晴作委員 忍足よね子委員 嶋田由美子委員 大橋玲委員
- ・欠席委員 なし
- ・市側出席者 市長 副市長 収入役 教育長 総務部長 企画部長 戦略プロジェクト推進部長
保健福祉部長 生活環境部長 農林水産部長 商工観光部長 建設部長 水道部長
教育次長 議会事務局長 富山支所長 白浜支所長 千倉支所長 丸山支所長
和田支所長 総務課長 企画政策課長 財政課長 三芳支所地域市民福祉課長
財政課財政係長
行政改革推進室長 行政改革推進室係長 担当1名
- ・次第
 - 1.開 会
 - 2.会長あいさつ
 - 3.本部長あいさつ
 - 4.議 事
 - (1) 南房総市行政改革推進計画の平成18年度取組状況報告について
 - (2) 南房総市財政健全化計画について
 - (3) その他
 - 5.閉 会
- ・公開又は、非公開の別
公開
- ・傍聴者 なし

要 旨

1.開 会

- 2. 会長あいさつ
- 3. 本部長あいさつ
- 4. 議 事

(1) 南房総市行政改革推進計画の平成18年度取組状況報告について
行政改革推進計画の平成18年度取組状況について説明。

【主な意見】

【1 市民と行政の協働による開かれた行財政運営の推進】

委員 パブリックコメント制度の導入について、提出意見が少ないことによる反省点、改善点をお願いしたい。また、市行政の一層の透明性を確保することが出来たとあるが、自己評価にしても表現が過大ではないか。

総務課長 パブリックコメントについては、18年度から制度として導入したため、まだ市民に浸透していない状況にある。今後周知方法等を更に検討し、多くの意見が提出されるよう努める。また、制度を導入したことにより、行政への透明性を確保できたと考えている。

【2 時代に即応した組織機構の見直しと電子市役所の推進】

委員 携帯電話へのメール配信サービスについて、防災情報だけでなく、防犯情報についても配信する予定はないか。

生活環境部長 現在、職員向けに防災情報の配信を行っているが、次の段階として消防団員への配信、その後市民への配信と段階を踏んで整備を進めている。防犯情報の配信についても検討していきたい。

【3 民間委託の推進と事務事業の見直し】

委員 指定管理者制度について、白浜フローラルホールについて導入を検討しているという話をきいたが、どのようになっているのか。また、このまま直営で運営するのであれば、稼働率から見ても、もっと営業活動を行うべきではないか。

教育次長 指定管理者制度の導入については、現在、検討を進めている段階である。利用状況等は、市民に利用してもらうことを基本としているので、使用料について、減免等もあり、収入が少ない状況にある。このようなことも考慮して、指定管理者制度の導入を検討している。

委員 指定管理者制度の導入については、導入したからといっても、今までと同様の管理委託料を支払っていただければ、財政効果は望めない。公共施設の有効活用も必要だが、施設があるからといって無理に使うのではなく、廃止や、売却も考えなければならぬのではないかと。遊休地についても同様である。7町村による合併のため、同様な施設もたくさんある。財政支出を抑えるためにも、早急にスリム化していかなければならないのではないかと。

市長 指定管理について、確かに今までと同様の支出をしていただければ、効果がないので、導入にあたっては、少しでも経費が削減されるよう検討しなければならない。指定管理の大きなメリットは、公募することにより、競争原理が働き、少しでも運営コストを下げることにあると考えられる。都市部では、こういった競争原理が働きやすいが、この地域では、なかなか競争原理が働かないのが、現実である。しかし、いつまでも今までと同様に施設について、経費をかけていくわけにはいかないのと、公共施設については、しっかりと検討していきたい。

委員 給食センターについて、児童数の減少等から、再編についてどのように考えているのか。

教育次長 適正な規模で、温かくておいしい給食が食べられることを念頭に再編を進めていく。

委員 ごみの分別について、更に分別を進め、缶についてもアルミと鉄に分けて出せばそれを分別する業者等のコストが下げられるのではないかと。

生活環境部長 資源ごみについては、有価物として出すには、きれいなものでなければ引き取ってくれないという現状がある。容器包装リサイクル法についても新たな制度が国で検討されているようなので、動向を見極めながら検討を進めていく。

委員 ごみの分別の中で、生ごみの処理について、焼却場で処理するのではなく、堆肥にして土に返すような考えはないのか。市民をあげてごみの減量化を進めていかなければならないのではないかと。

生活環境部長 現在、清掃費は、予算の中でも相当のウエイトを占めている。ごみの減量化を進めながら清掃費を削減しなければならない。そのためには、市民の自主的な分別や減量化への意識が必要である。そういった中で8月から南房総市環境大学を開催し、市民の方に環境について、知識を深めてもらい、環境ボランティアやエコリーダーを育てていきたいと考えている。

委員 市内バス交通再編について、金沢市のバスの運行事例を見たところ、非常に良くできていた。南房総市も参考にしてはどうか。

企画部長 市内バス交通再編については、昨日地域公共交通会議を開催したところである。25名の委員でその中には、バス業者、タクシー業者の方も含まれている。南房総市は、旧町村独特の路線形態があり、日東交通の路線バスも通っている。そういったものを総合的に検討していきたいと考えている。南房総市は、市域が非常に広いので、市域の路線を一本化していくのは、非常に難しいので、地域にあった運行を検討していく必要がある。金沢市の事例については、参考にしていきたい。

【4 職員の定員管理と給与の適正化】

委員 職員の評価制度について、どの程度進んでいるのか。職員の中には対応の悪い者もいる。そのような部分での評価が必要なのではないかと。本格的な導入が難しいならば、できることから実施すべきではないかと。また、第三者を入れた、評価を行うべきではないかと。

職員だけでなく、臨時職員等の対応についてもしっかりとした指導をお願いしたい。

総務部長 人事評価制度に関しては、全国的に導入実績が少なく、行政改革推進室を中心に調査研究を進めている。現在、職員の接遇向上を目的とした、窓口納得宣言を行い、職員の対応に関するアンケートを実施したところである。また、今年度から、部、課の目標を設定し、評価していく目標管理制度を試行する。第三者を入れた評価については、先進地の事例を研究していきたい。臨時職員の対応についても、しっかりとした指導を行っていく。

委員 職員のミスに対する懲罰等の導入を考えていないのか。合併から1年が過ぎ、全体的に中だるみしているような感じを受ける。指導だけでなく、形として残ることを行う必要があるのではないかと。

市長 職員の評価に関しては、プラス面、マイナス面を適正に把握して、行わなければならないと考えている。基本的にミスが重なれば、昇進等に影響が出てくる。行政の評価の方法としては、どちらかというと、減点主義よりも加点主義に基本をおかなければならないと考えている。

委員 人件費の削減について、広報無線等で臨時職員の募集をしているが、約200名

の臨時職員がいる中で、効率的に配置や異動を行い、経費を削減できないのか。また、臨時職員の適正な人数というのは、どこでチェックしているのか。今まで採用していたから、同じように採用するのでは、削減は望めない。職員の人件費を削減する前にもっと削減すべきことがあるのではないか。

総務部長 臨時職員については、その部署で、特定の業務に関して採用を行っているので、異動等を行うのは、難しい。臨時職員の採用については、各部において行っているが、総務課でもチェックを行っている。適正な配置、人数等を十分検討し、経費を削減していく。

委員 定員管理について、勸奨退職11名、普通退職9名となっているが、手当については、どのようになっているのか。

総務部長 退職手当について、一般的に勸奨退職については、普通退職によるものより、支給率が高くなっている。普通退職については、自己都合による退職になるので、手当については、支給率は、低くなっている。今年度からは、45歳以上の職員を対象とした、早期退職者制度を制定し、更なる定員管理を行っていく。

【5 自主性・自立性の高い財政運営の確保】

委員 補助金について、今まで行政が、国や県から補助があるから、無理に実施していた過程がある。そういったものは、現在効率的に使われていない。市民から、要望があがってきたものの方が、自分達のために努力するので、効果的に使われるのではないか。

市長 補助金の考え方が、今後は、意欲のある人達に対して、有効的に補助していきたいと考えている。国や県の制度もそういった方向に変わってきている。

委員 財政健全化について、観光地によっては、別荘税というものを導入しているところもある。新たな税収として検討をしてみたらどうか。

(2) 南房総市財政健全化計画についてについて

財政課より南房総市財政健全化計画について説明。

【主な意見】

委員 今、説明にもあったように、何もしなければ財政調整基金等も22年度には、底をついてしまう。無駄なもの、特に施設については、早急に整理しなければ、南房

総市の存続に係わってくる。旧7町村の施設を調査し、整理を行ってほしい。

(3) その他

今後の予定について事務局より説明。

5. 閉 会